

## できることから エシカル消費

エシカルとは、倫理的・道徳的という意味で、人や社会、環境に配慮した消費行動をエシカル消費と言います。2015年に国連でSDGs(持続可能な開発目標)が採択されました。「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」のほか、「住み続けられるまちづくりを」「つくる責任・つかう責任」「海・陸の豊かさを守ろう」など、SDGsの目標の多くは私たちの消費行動と直結しています。目標達成のためにも今、エシカル消費が求められています。

例えば、買い物にエコバッグを使う、マイボトルを持参する、洗剤などはボトルを繰り返し使い、詰め替え商品を購入する、などがエシカル消費です。

近くの生産地の商品を選ぶ「地産地消」もエシカル消費で、近郊から旬の商品を買えば、輸

送によるCO<sub>2</sub>の排出を減らすだけでなく地域を応援することにもつながります。

コンビニやスーパーでは、すぐ使わずに陳列棚の手前から取る「手前取り」によって、期限切れの食品廃棄を減らせます。

ペットボトルなどプラスチック容器のリサイクルも定着してきました。最近は衣類用の回収ボックスがある衣料店も増えています。環境を守るため、資源は再利用したいものです。

またエシカル消費には、フェアトレードという考え方があります。公平な取り引きにより、発展途上国の人々の生活を改善しようという考えです。途上国の児童に労働をさせたり、生産過程で環境に悪影響を及ぼしたりする企業からは購入せず、公平な取り引きを行っている企業の商品を選ぶこともエシカル消費です。一人ひとりの消費行動で社会を変えていくことができます。

毎日の買い物に「エシカル」を意識し、自分にできることから、未来の地球にやさしい消費を始めてみましょう。

### 国消費生活センター

TEL 6319・1000

FAX 6319・1500